



森の守護神

森ボラ 通信

NPO法人 北海道森林ボランティア協会

札幌市中央区南2条西2丁目金市館ビル8F

Tel:241-8155 : Fax:241-8308

E-mail : hshinrinv2002@nifty.com

URL <http://www.geocities.jp/hokkaidoforest/>

トピックス

◆ 環境教育支援 — 幌南の森プロジェクト始まります

いきさつ

幌南小学校は藻岩山の下にあり昨年度はシイタケ栽培用の原木をもって行き校庭で6年生に駒菌を打ち込んでもらってホダ場を作りました。

また夏には校長先生たちが札幌市円山動物園の学芸員たちをつれて澄川活動現場にこられてカブトムシの幼虫と産卵木と一緒に採集し校庭のビオトープに移して子供たちが飼育しています。この縁は、芝さんたち「北ぐにの森づくりサークル」が藻岩山で子供たちとカミネソコン植樹をしている活動から派生してきています。

遊々の森

林野庁には「遊々の森」というプランがあり3月13日石狩森林管理署と幌南小学校の間で5ヵ年の協定が締結されました。森林での遊び、学習、林業体験の活動の場とするものです。場所は藻岩山のスキー場のど真ん中の12haのカラマツと広葉樹の森です。

この環境教育を「札幌モーニングロータリークラブ」と「北ぐにの森づくりサークル」と「北海道森林ボランティア協会」が支援していくというもので、調印式にも棟方・酒井が列席しました。

環境教育支援

これまで、スポット的な森林教育支援は札幌工科専門学校や宮の森中学校、南幌中学校、有明小学校、千葉市の若松小学校などに行いましたが、長期的な活動はありませんでした。

急なプランであり北海道森林ボランティア協会としては、今年度は看板の設置と遊歩道の整備を提案し、札幌モーニングロータリークラブが援助をしてくれる事になりました。この森は保安林ですから木を切ったり土を掘ったりすることはできません。校長先生は隠れ家的な散歩道を希望されており立ち木をよけながら下草を刈って踏みつける「けもの道」となりそうです。

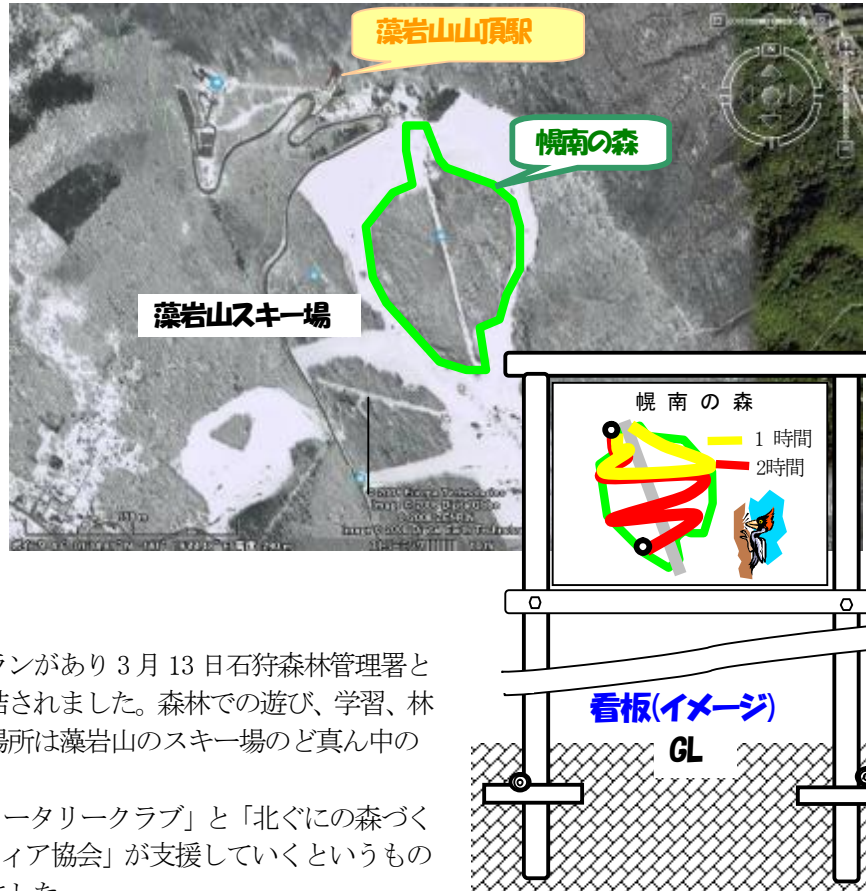
4月末に「北ぐにの森づくりサークル」が音頭を取って各団体が集まり現場で下見会をすることになり、具体的な計画が練られます。年に数回の現地活動になりそうです。

それぞれの夢

この環境教育支援活動は、私たちの協会が主導ではなく支援であって活動回数も少ないのですが、子ども達のためにどのようなことをしたいか会員のみなさん、以下のような意見をお寄せください。教えるのは先生方ですが私たちの協会は、無言でその場を作ってあげてこのプロジェクトのコンセプトにしたいと思います。

- 森が水を作りだす水源地がありそうで、それを探しだし遊歩道をつける。
- 館脇 操先生が命名の「モイワボダイジュ」をみんなで探し出す。
- 樹名板の字は子供たちに書かせる。(山中さんの案)
- 看板のクマゲラは私が描ける。(高野さん)

(記、酒井)



◆ 活動報告：民有林支援はじまる

札幌市郊外の南区滝野のアイケンの森で活動がはじまりました。
この協会がスタートしたころから日本の民有林の衰退による荒廃を少しでも救いたい、役に立ちたいと言う議論がなされていたのですがなかなか実現しませんでした。

北海道には里山が無いとか、受益者は公共であることの方が活動の達成感が得られやすいとかの議論もありました。気持ちを持ち続けることがこの出会いを生み、今日になったと思います。

二青会との協働のゴミ拾い、ヤナギの粗朶連柴枠づくり、植樹祭とジンギスカンなど、ほぼ4年間のお付き合いを経て今日に至りました。事務局サイドとしても昨年8月の「アイケンの森下見会」企画から打ち合わせ会を経ての協定書の締結、「アイケンの森」の二酸化炭素吸収量計算ワークショップによる合意形成、市役所に伐採届の提出などの事務作業がありました。

2月20日は、またまた日本晴れの朝を迎えて澄川乗り合わせでアイケンの森に向かうと最終民家を過ぎても幅広い除雪道が続いており無言の歓迎を受けました。

初日につき除伐・薪炭材の選木が目的です。社長に挨拶の後、カンジキ、スノーシューをつけ深雪を踏んで広大な広葉樹林42haの北西部第22小班に向かいました。調査と道付けは午前中に終了し昼食は枯れ木を拾いながら下がり、焚き火をしながらの食事となりました。棟方さんから藻岩山の幌南小学校の植林活動支援計画の話聞いてから物置に貸していただいた有蓋貨車を掃除し、作業道の支障木整理と7本の除伐、90cm玉切り藪出しを試行、手合わせ作業を行いました。木はあまり太くなく、チルホールとバチ樫は必要ですが作業道密度から私たちの活動にぴったりの条件です。3月の硬雪渡りをしながらの本格活動が楽しみです。（記、酒井）



除伐木選木表（優勢木から3メートル以内の劣勢木、被圧木、中折れ木、風倒木）

樹種	胸高 円周 cm	樹高 m	倒木	樹種	胸高 円周 cm	樹高 m	倒木	樹種	胸高 円周 cm	樹高 m	倒木
イタヤカエデ	40	7		シラカンバ	68	18		シナ	75	18	
シラカンバ	34	7		シラカンバ	66	18		シナ	70	11	
ハリギリ	39	7		シラカンバ	53	18		シナ	45	8	
キハダ	67	12		シラカンバ	65	17		シナ	44	9	
シナ	45	7		シラカンバ	91	11	倒木	ホオ	40	7	
ハリギリ	31	7		シラカンバ	81	12	倒木	ホオ	29	7	
カラマツ	98	10		シラカンバ	110	12	倒木	雑	90	x	
シラカンバ	47	10		シラカンバ	88	9	倒木	シラカンバ	65	10	
シラカンバ	55	10		シラカンバ	65	10	倒木	シラカンバ	85	13	
シラカンバ	22	7		シラカンバ	65	7	中折	シラカンバ	76	x	
シラカンバ	38	7		シラカンバ	68	12	倒木	シラカンバ	60	10	
シラカンバ	51	9		シラカンバ	80	12	倒木	キハダ	108	x	
シラカンバ	53	11		シラカンバ	82	15	倒木	シラカンバ	68	11	
シラカンバ	54	11		シラカンバ	90	15	倒木				
シラカンバ	44	12		シラカンバ	67	15	倒木				
シラカンバ	40	7		シラカンバ	38	9					
シラカンバ	71	13		シナ	49	9					
イタヤカエデ	38	5		シナ	47	8	中折				
ハリギリ	52	5		シナ	52	8	中折				
シナ	85	11		シラカンバ	68	13					

■ 今月の幹事会

出席者：荻田・酒井・杉本(茂)・津金・西野(悌)・棟方・山中・和田
佐野・佐坂さんが傍聴しました。

1. お知らせ・確認事項

会員数が2月29日現在で101名（男性71名・女性30名）になりました。

・新入会員の紹介

嵯峨井 喬 さん、手稲区、2月13日付にて入会。（杉本さんの紹介です。）

趣味・興味は家庭菜園、囲碁です。

齋藤 正幸さん、白石区、2月21日付にて入会。

只野 薫さん、中央区、2月29日付にて入会。女性です。

・入院加療中：柴田幹事、治療で二週間程度か？？HPの掲載にご不便をおかけしています。

2. 総会は5月12日（月）16：00～17：00に決定しました。リンケージプラザを計画しています、全員の参加をお待ちします。
3. 5周年記念誌投稿はまだ間に合います、全員の投稿をお願いしています。未提出の人は急いでください。
4. 芸術の森アートマーケット出展は札幌市円山動物園で実施する10月4日（土）10:00から、に出展します。作品作りに参加して下さい。澄川の森でも作品作りを実施します。
5. 札幌市立幌南小学校の森林活動を支援。
幌南小学校は国有林と「遊々の森」の協定を結び藻岩山（11.8ha）での活動を拡大します。当協会は北の森作りサークルと協働し、いままでシイタケ植菌やカブトムシ採集で支援してきましたが初年度は遊歩道作りで支援していきます。

■ おしらせ

◆ 図書紹介

全国林業改良普及協会から図書が届いています。
知りたいところがズバリ分かる。技術のイラスト事典です。
興味又は購入希望者は事務局までご連絡を。

・その1

イラスト図解 「林業機械・道具と安全衛生」

月刊「林業新知識」編、文・イラスト 鶴岡政明

四六判 208頁 カラーイラスト、定価：1,995円（本体1,900円）

1月・2月のセミナーで市山さんの伐木・仮払機の安全作業を紹介しましたが、その研修内容の概要がほぼ掲載されています。



・その2

イラスト図解 「造林・育林・保護」

月刊「林業新知識」編、文・イラスト 鶴岡政明、

四六判 176頁 カラーイラスト、定価：1,995円（本体1,900円）

樹木の造林・育林・保護の解説がイラスト入りで分かりやすく解説されています。ツル植物やきのこのお話しが一杯です。



■活動履歴

活動日	行事	参加人数	活動内容
3月18日(火)	木工	11名	木工製作・巣箱づくり
3月15日(土)	アイケンの森	15名	風倒木処理・薪玉切り
3月10日(月)	幹事会	10名	佐坂さん傍聴、佐野さん出席
3月06日(木)	澄川	12名	風倒木処理・ホダ木
3月05日(水)	セミナー	26名	バイオトイレ(寺沢先生)、 山菜三昧(湯澤)
3月04日(火)	アイケンの森	16名	風倒木処理・薪玉切り
2月25日(月)	木工	12名	木工製作
2月23日(土)	澄川	11名	除雪・
2月20日(水)	アイケンの森	13名	調査・冬期風倒木処理
2月19日(火)	木工	9名	キャリコ除雪、ほか

■ひとこま

◆ 冬期セミナー「山菜&バイオトイレ」

冬期恒例のセミナーが、平成20年3月5日13:30からリンケージプラザにおいていっぴく多く多くの会員(26名)が出席して開かれた。セミナーは2部に別れ、第一部は協会の湯澤会員が講師で、待望の「山菜取りと料理について」、

1 山菜の種類(クレソン・フキノトウ・ウド・ヤブカンゾウ・アマドコロ・ニリンソウ・タラノキ・アズキナ・コゴミ・ギョウジャニンニク・ワラビなど17種)、

1 生育地

1 採取方法・処理方法

1 料理方法

1 保存方法

など、相変わらずの博識に驚かされる。講演の締めは、山菜ABCについて活発な質問と講師手作りのワラビのピクルスを試食しながら、やがて訪れる山菜の季節に野山を駆け巡る思いをはせ、講をとじる。10分間の休憩の後、セミナー第2部に入る。

第2部の講師は、当協会の活動で大変ご協力いただいている、北大名誉教授の寺沢実先生で、講演のタイトルは、地球環境にやさしい「バイオトイレ」。

まず、オガクズ活用によるバイオトイレの概要を聞き「目から鱗」の驚きである。ここ数年、世をあげて地球温暖化が叫ばれているが、その解決策は見出されているのか、その一助であるバイオマス、エコロジーもそれを真摯に考え実践している地球の一員はどのくらいいるのだろうか。何か先が見えないもどかしさを感じる。そんな時のバイオトイレ、歩みは遅く小さくとも地球に優しく確実に。

バイオトイレは時代が求めた糞尿処理装置という。その主な特徴として①水の環境問題(水を大量に使用せず、水を大量に汚染せず、汚水を大量廃棄しない)②リサイクル問題(糞尿の肥料分を土に返し、循環型社会の育成に貢献する)③介護問題(1回1回捨てる必要がなく、無臭で、トイレに見えない介護用トイレ)④災害問題(断水時でもトイレとして使用でき、生ゴミも処理できる)⑤家畜の糞尿問題(家畜の糞尿は大幅に減容(99%減容))。

地球の救世主となるか、このバイオトイレの基であるオガクズに与える条件とは「温度、酸素、水分」である。と強調されていた寺沢先生のバイオマス、エコロジーの研究に注ぐ並々ならぬ情熱が印象的であった。

セミナー終了後、湯澤さん、寺沢先生両講師を囲み有志による懇親の会を催す。会は杯を重ねる毎に盛り上がりを増し、講師の両先生は、好奇心旺盛な初老とは思えぬ元気な面々の質問攻めに合いジョッキーを傾ける手が鈍るほどの盛会であった。



湯澤会員のセミナー



寺沢先生のセミナー